

小松電機 韓国販売に力

シート製 シャッター 中国輸出も検討

シャッター製造の小松電機産業（松江市）は、韓国でシート製のシャッターの販売を強化する。食品工場などの出入り口用に需要が伸びており、韓国に昨夏、設けた販売拠点で営業を強化。中国への輸出も検討している。

（樋口浩二）

昨年7月、韓国・ソウル市に支社を開設した。本社から移った韓国人支社長を含む4人が営業している。韓国では工場棟の新設や設備更新が活発で、既に

約100社に対してシャッターを納めた。営業員の増員も検討している。

同社の主力製品は、工場の出入り口に設置

するシートシャッター。樹脂製のシートが上下して間仕切りとなる。国内で約3割のシェアがある。昨年6月に開閉時の高速性と安全性を高めた「Gシリーズ」を発売しており、韓国内でこの製品を売り込む。

小松昭夫社長は「アジアの市場は伸びしろが大きい。品質を売り込み、販路を広げたい」と話している。

への輸出も目指す。現在は松江市の本社工場から韓国に輸出しているが、将来的に韓国に生産拠点を設けることも検討している。



小松電機産業が韓国で販売を強化するシートシャッター
（松江市の本社）